

ACCOMPLISH



impossible is nothing 負けはしなかった！

日照時間が減り、赤とんぼが飛んでいる様子を見ると、秋らしさを少しだけ感じられるようにはなりましたが、日向で活動すると暑い1日に、熱い戦いが繰り広げられました。

中学校で最後の運動会で絶対勝ちたいと思う気持ちは、どの団も同じです。応援で精一杯声を出し、競技で力一杯走り回ったことと思います。結果発表では僅差で勝敗が分かれ、喜びと悔しさが入り交じりましたが、3年生だけでは勝てなかったし、後輩達が気持ちを一つにしてくれたからこそ団としてまとまることができ、最高の運動会になったことを応援リーダーの皆さんは感じたことと思います。

今年度から「3分間の応援合戦」となり、何ができるかを模索しました。手拍子と替え歌とパフォーマンスを3分以内で収めるために、知恵を絞り、意見を出し合ってやってみて、試行錯誤しながら団独自の応援にまとめていきました。リーダーの迷いや弱気をクラスメイトが、声やパフォーマンス、お手伝いなどで払拭していたように思います。

運動会に向けて、それぞれのクラスが団結力を高められた様子が見られ、この力が次の合唱コンクールにつながるものと、期待をしています。

以下、運動会の振り返りから、紹介します。

競技の部	応援の部
1位 黄	最優秀
2位 青	青
3位 赤	

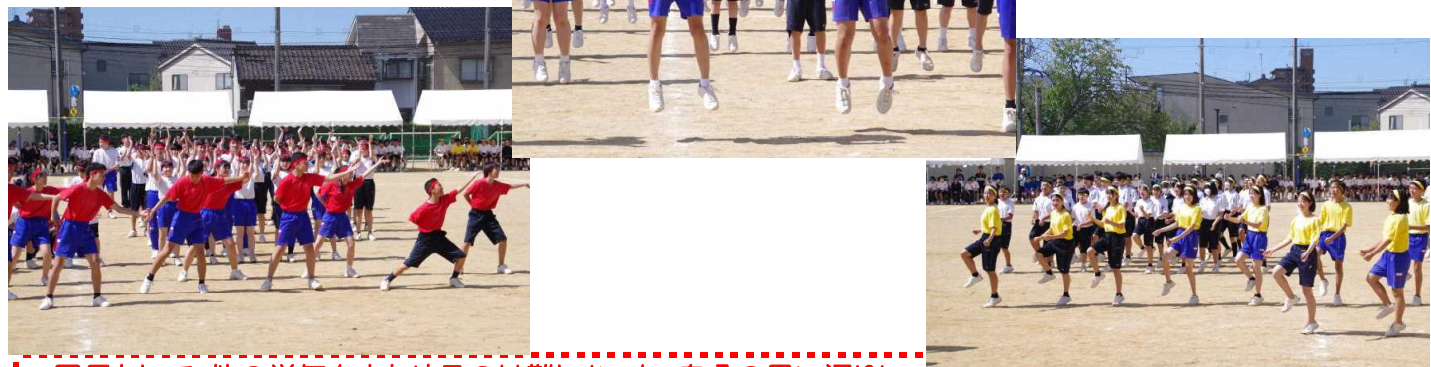
団全体が盛り上がるような雰囲気づくりに気をつけた。応援の練習をしているときは、何度もやめたいと思ったが、最後までやり遂げられて良かった。最優秀賞を獲ることができて嬉しかった。

大人数をまとめることは難しく、どうしたら皆が楽しいか、どうしたらイヤではないのかを考えるのはやはり難しいことだと学んだ。

青団団長 S.S

応援練習の始めは学年間と男女間でやる気に違いがあり、応援団がしていることが空回りしている気がした。それにめげずに練習を重ねるにつれ、多くの人が応援団や一生懸命やっている人たちに感化され、全員が勝とうとしていたので、一生懸命な気持ちは伝わることを学んだ。

黄団団長 S.F



団長として、他の学年をまとめるのは難しかった。自分の思い通りにならないことも多く、怒ってしまうこともあったが最終的には皆が動いてくれたので良かった。他の団よりも1クラス少なかったけれど、負けないくらいに大きな声が出ていたと思う。

運動会を通して、少し皆を上手くまとめられた気がしている。

赤団団長 A.M



これまでは運動会が近づくと、運動が嫌いだから、走るの苦手だから「イヤだな」と思っていた人も、今年の運動会は少し楽しさと達成感を感じられたのではないのでしょうか。競技だけではなく、応援や準備などで多くの方が活躍していました。応援については、3年生全員が応援リーダーのつもりで練習に臨んでいたのではないのでしょうか。リーダーが声を枯らして歌ったり指示をしたりするとき、クラスメイトは全体のお手本になれるよう、負けじと声を出していたように思います。

それでも、自分達が考えることを「伝える」難しさと「動かす」難しさを練習のたびに感じていたようです。誰かが弱気になっても、「頑張ろう！」と励まし合う姿がとても素敵でした。みんなのお陰で、最後まで投げ出さずに3年生として1、2年生をまとめることができたように思います。

また、執行部の皆さんは、1学期から準備を始め、2学期に入ってからには昼休みも作業をし、盛り上げるための工夫を考えていました。後期からの生徒会活動は、2年生にバトンタッチです。これまで本当によく活動したと思います。ご苦労様でした。

執行部の皆さんの様子を見たり、自分達も参加したりすることで、行事を運営する裏方の準備の重要性や人の気持ちを動かすことの難しさと物理的な難しさを学んだことと思います。高校の行事は人数も多く、もっと大々的です。これまでの経験が、臆せず発言したり創造的に考えたり、積極的な行動につながることを期待しています。



運動会では、周囲を見て行動することと、自分達がどのように行動したら応援リーダーが指示をしやすいのかを臨機応変に考えるようにした。準備期間の団決め抽選会で方針を変えたり、スローガンがなかなか決まらなかったりして、勉強する時間が少なくなることに不安を覚えることもあったが、運動会で皆が楽しそうにしている姿を見て、少しは自分も役に立てたかと思うと凄く嬉しくなった。

3年生が主体となって学校を盛り上げることのできる最後の行事に、今まで以上の達成感やクラスのみとまりと団結力を感じることができ、嬉しかった。運動会で、粘り強く頑張れば結果につながり、多くの笑顔につながることを学んだ。

生徒会長 F.A